

令和3年度第3回地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会 議事要旨

日時 令和3年8月31日(火) 16時00分から17時45分
場所 加古川中央市民病院 管理棟3階 会議室
出席者(委員) 森脇委員長
加堂副委員長
中田委員
溝端委員
石井委員

報道関係者 0名
傍聴者 0名

会議次第 1. 開会・あいさつ
2. 議題
(1) 令和2年度業務実績に関する評価について
(2) 中期目標期間業務実績に関する評価について
(3) その他
3. 事務連絡・閉会

配付資料

資料①：令和2年度の業務実績に関する項目別評価（案）

資料②：第2期中期目標実績評価

1. 開会	<p>開会の宣言</p> <p>森脇委員長よりあいさつ</p> <p>コロナ第5波の過酷な環境の中で、市民病院の職員の方は毎日頑張られている事と思う。デルタ型は10代、20代の若い年齢で感染が広がっており、学校での感染等も考えると2次被害、3次被害など影響が大きくなっている。仮に今コロナがなくなったとしても、もとの社会に回復するまでに数年かかるだろう。そうした大変な状況であっても、病院事業をしっかりと進めていく必要があり、職員の方の懸命な努力が必要である。本日は、令和2年度の業務実績と第2期中期目標の評価を行うことで、そうした病院の努力の成果・実績を改めて検証していきたい。委員の皆様からは忌憚のない意見を聞かせていただき、病院の参考にさせていただきたい。</p>
2. 議題	<p>(1) 令和2年度業務実績に関する評価について</p> <p>大項目評価</p> <p>小項目評価の結果から機械的に算出される各大項目の評価点と評価について事務局から説明した後に、評価委員会で審議し、大項目評価を以下のとおり決定した。</p> <p>【大項目】1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 合計点：183、評価点：3.81（A） ⇒ 評価委員会評価：A</p> <p>【大項目】2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 合計点：78、評価点：3.25（B） ⇒ 評価委員会評価：B</p> <p>【大項目】3 財務内容の改善に関する事項 合計点：76、評価点：3.80（A） ⇒ 評価委員会評価：A</p> <p>【大項目】4 その他業務運営に関する重要事項 合計点：24、評価点：3.00（B） ⇒ 評価委員会評価：B</p>

(2) 中期目標期間業務実績に関する評価について
小項目評価
<p>事前に提出いただいた各委員の評価が異なる小項目を中心に質疑及び議論を行い、委員会としての評価を決定していくことを委員長から各委員へ説明があった。</p> <p>【大項目】 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>【中項目】 1 市民病院として果たすべき役割の発揮</p> <p>【小項目】 (3) 予防医療の提供</p> <p>法人自己評価： 2</p> <p>委員事前評価： 2 (1人)、3 (2人)、4 (1人)</p> <p>⇒ 評価委員会評価： 3</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の中核病院なので、普通の人間ドックをするのではなく、高度な機器等を使用した特徴のある検査を行うべきという思いがある。それについて計画を立て、この5年間で少しは進歩してきているように思う。昨今は個人や企業の健康への関心が高まっていることもあるので、今後はそうしたニーズに答えられるような計画を期待する。 ・ 人間ドックや健康教育の啓発実績が、コロナの影響を受けて減るのは当然の事と思われる。活動指標の項目にはなっていないが、医療従事者への新型コロナ予防接種の対応は素晴らしく、それを踏まえた上で評価したい。 ・ 専門的な検診に特化し、市民病院としての役割を果たしている。 ・ コロナの影響を受けたとは言え、達成率等の指標から判断すれば2が妥当ではないか。 ・ 認知症に特化したメモリードックとはどのようなものなのか。 <p>(法人回答)</p> <p>今後認知症の患者は増えると思われるが、認知症と断定される前の段階を察知して対応することが大切である。この分野に詳しい医師と協力し、質問票等から状態を判断するメモリードックを実施している。今後はメモリードックについて知ってもらい利用を進めたいと考えている。また、認知症関連として、神戸市で取り組まれている「コグニケア」と同様の仕組みを加古川でも取り入れたいと考えている。認知症疾患医療センターとしての指定も受けているので、力を入れて進めていきたい。</p>

【大項目】 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

【中項目】 3 安全で信頼される医療の提供

【小項目】 (3) 患者ニーズに対応したサービスの充実

法人自己評価： 4

委員事前評価： 4 (3人)、5 (1人)

⇒ 評価委員会評価： 4

(主な意見)

- ・患者満足度に関しては非常に高い水準を保っている。活動指標についてはまだ上がる余地があると思う。
- ・活動指標が十分良い状態であるので5の評価でも良いのではないか。
- ・患者満足度が高い状態で推移しており評価できる。
- ・聴覚障がい者や外国人に対応するため、タブレット端末の導入等を行っており、患者ニーズに対応した取り組みが非常に評価できる。
- ・例えば外来平均待ち時間についてはH28年度と比較して増加しているが、患者数の増加や診療の質の向上を考えると、必ずしもマイナスの評価につながるわけではない。

【大項目】 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

【中項目】 3 安全で信頼される医療の提供

【小項目】 (4) わかりやすい情報提供の推進

法人自己評価： 4

委員事前評価： 3 (1人)、4 (3人)

⇒ 評価委員会評価： 4

(主な意見)

- ・広報誌の発行は大変だと思うが、継続して発行できており評価できる。今後は広報誌以外の方法にも期待したい。
- ・コロナ禍での広報誌の発行は例年よりも大変だと思う。わかりやすい情報発信の観点からも評価できる。
- ・広報誌の発行による反響があるのか知りたい。

(法人回答)

広報誌の発行によって患者数が増えたなどの直接的な影響が出ているかまでは不明だが、患者から広報誌を見たとの声を頂くことはある。看護外来に関しては、広報誌で取り上げたことで来院された方もいらっしゃった。また、広報誌の発行は外部への情報発信以外にも、病院職員にとっても新しい発見があるというメリットがあると考えている。今後はWEB やオンラインでの情報発信を充実させたいと考えている。

【大項目】 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

【中項目】 4 優れた医療従事者の確保及び育成

【小項目】 (2) 臨床研修病院としての機能の発揮

法人自己評価： 4

委員事前評価： 4 (3人)、5 (1人)

⇒ 評価委員会評価： 4

(主な意見)

- ・専攻医の人数を見てもこの5年で順調に伸びてきている。
- ・初期臨床研修医の人気は国内でもトップレベルだと思う。さらに良い人材を集めることを期待する。
- ・初期臨床研修医の充足率が100%であることから、若い人材にとって魅力のある病院であることがわかる。
- ・募集定員充足率がこの5年で100%を維持しているが、定員が増加しても維持できるのか。また、令和4年度に県立姫路循環器病センターが開院することで初期臨床研修医の配分等に影響はあるのか。

(法人回答)

毎年、県には定員を14人として意向を出す、実際に割り振られた去年の定員数は12人となっており、第一志望者は31人であった。県全体の定員があるので、定員が増えにくい状況ではあるが、仮に定員数がもう少し増加しても充足率は100%を保てると思われる。県立姫路循環器病センターが開院することで初期臨床医研修の応募人数等にどのような影響が出るかについては、予測が難しい。

【大項目】 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

【中項目】 1 自律性、機動性及び透明性の発揮

【小項目】 (3) 効率的な業務体制の推進

法人自己評価： 3

委員事前評価： 3 (3人)、4 (1人)

⇒ 評価委員会評価： 3

(主な意見)

- ・官民両病院の統合の計画時点から、何年もかけて着実に準備を重ね、業務体制の改革に取り組んでいる。こうした着実な取り組みにより、性格の異なる病院が統合し、ここまで発展できたことは評価できる。
- ・業務フローの整備等まだまだ発展途上の部分もあるが、官民両病院の統合から業務フローの改善を順調に進めている点が評価できる。
- ・統合後の業務体制の改革は、今後の参考事例となるような素晴らしい内容であり評価できる。

	<p>【大項目】 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 【中項目】 1 自律性、機動性及び透明性の発揮 【小項目】 (4) 業務管理（リスク管理）の充実 法人自己評価： 3 委員事前評価： 3（3人）、4（1人） ⇒ 評価委員会評価： 3</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年間で着実に改善されている点もあれば、コンプライアンス研修の参加人数が不安定など、まだ改善すべき点もあると思う。 ・ 全職員へコンプライアンス研修を行うなど丁寧にリスク管理をしていると感じる。 ・ 内部監査室や審査室を設置するなど審査体制を強化している点など、概ね順調に進んでいると考える。 ・ 法人として内部監査室や審査室のあり方等についてどのような考えを持っているのか知りたい。 <p>(法人回答)</p> <p>新病院ができるころに不祥事があったことがきっかけでコンプライアンス推進本部を設置したり、内部監査室・審査室を設置するなどの仕組みを整えてきた。あちこちにチェックを行う人を配置することでチェック機能を強化し、間違った方向に進むのを防ぐためにも重要な仕組みであると認識している。</p> <p>【大項目】 4 その他業務運営に関する重要事項 【中項目】 2 地域社会への貢献 【小項目】 (2) まちづくりへの参画 法人自己評価： 3 委員事前評価： 3（2人）、4（2人） ⇒ 評価委員会評価： 4</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりへの参画とは、行政と病院がどういう風にかかわっているかと捉えることができる。この5年間とそれ以前とを比較すると、着実に行政側の考え方が病院にも反映されていると感じる。 ・ 令和2年度は特に新型コロナ関連で市と連携して対策ができており評価できる。
	<p>(4) その他</p>
3. 閉会	<p>閉会の宣言</p> <p><加堂副委員長あいさつ> 残暑厳しい中、熱心なご討議ありがとうございました。これで令和2</p>

	<p>年度の業務実績評価と、中期目標期間の業務実績の評価の大部分が終わり、ほっとしている。新型コロナの感染については、家庭内感染が増えつつあり、職員の家族が感染することで医療現場への影響が出るなどの恐れがある。こうした不安定な要素がまだまだ起こる可能性があるが、すでに始まっている第3期中期計画や令和3年度の計画の達成に向けて、去年よりも改善できるように努力し、病院を発展させてほしい。</p>
--	---